

海産生物放射能影響評価調査 一抄録一 (有用水産生物分布調査)

田村 亘・十三 邦昭・高梨 勝美・^{*}藤田 修央

発表誌名

1. 平成2年度海洋環境放射能総合評価事業成果報告書―海産生物放射能影響評価調査― (青森県)
2. 海産生物放射能影響評価調査の概要 (昭和62年度～平成2年度) 平成3年3月 青森県

抄 録

有用水産生物分布調査

1. 漁獲調査 (検体調査)

東通村白糖及び三沢市漁協に水揚げされたヒラメ、マコガレイ、イシガレイについて、全長、体重、食性、成熟度、年令等を調査した。

(1) ヒラメ

6月：全長21.3～35.6cm、体重109～693g、胃内容物は魚類、クモヒトデであった。年令はほとんどの検体が1才魚であった。

9月：全長23.8～26.9cm、体重143～200g、胃内容物は甲殻類で、すべて1才魚であった。

(2) マコガレイ

6月：全長21.5～37.8cm、体重174～691g、胃内容物はアミ類、貝類、頭足類、多毛類等で、ほとんどの検体が放精、放卵直後であった。年令は2～6才魚で3才魚の検体が多かった。

9月：全長18.4～23.0cm、体重88～198g、ほとんどが未熟で年令はすべて1才魚であった。

(3) イシガレイ

6月：全長19.0～32.7cm、体重93～496g、胃内容物は貝類、ほとんどが未熟ですべて1才魚であった。

9月：全長20.7～27.1cm、体重111～233g、胃内容物は貝類、甲殻類、ほとんどが未熟で年令はすべて1才魚あった。

2. 資源分布調査

試験船青鵬丸 (56トン) によりかけまわし漁法で5月と10月に各5地点で調査した。

採取種数は5月28種 (魚類23種)、10月31種 (魚類26種) であった。一曳網当りの水深別漁獲状況、主な魚種の全長組成並びに多項目測定結果等についてとりまとめた。

3. 昭和62～平成2年度分の調査結果を以下の項目について概略的にとりまとめた。

(1) 漁獲調査

- ・標本船調査…各漁法毎の漁場利用状況

※現青森県水産課勤務

- 検体調査…主要魚種の全長、体重、食性、成熟度等
 - 生態調査…既往知見により、主要魚種の漁業実態と生態等とりまとめ
- (2) 資源分布調査
- 底曳網による分布状況…主要魚種の時期別・水深別の分布状況等とりまとめ
- (3) 種苗放流調査
- ヒラメ稚魚の移動状況とりまとめ